

東日本大震災の翌日にインドネシアへ

ワダコーヒーの主要事業である卸商、外食産業に次ぐ店舗プロデュース面での取り組みをご紹介します。

名古屋地区に本拠を置く同業者の任意の集まりである珈昇倶楽部が「名古屋コーヒー勉強会」という情報交換の場を設けていたのはすでに触れた通りです。

この勉強会は次代を担う若手経営者を教育する場でもありました。参画する会社にはそれぞれの人材教育手法があるので、他社があればこれと口出しすることは許されません。しかし、業界全体に関わることは単独社よりもむしろ、志を同じくする会社が一緒に学んだほうが得策だし、情報共有で得られる利点が多いはずです。

一方で互いに厳しいビジネスの場に身を置きながら、他方で同業者ならではの腹を割った話ができるのは会社の垣根を越え、他社の考え方を知る上での大きな収穫でした。その意味で、月に一度の実践的な勉強会は刺激に満ちていました。現在、当社がお取引をさせていただいているお得意様や、将来喫茶店を開業したいと考えている人たちに對してさまざまなアドバイスができるのも、そうした蓄積があるからです。

この勉強会と前後して、コーヒー豆の生産国に足を運び、それがどのように育てられ、収穫され、輸出されて日本に来るのかということをつぶさに学ぶ機会を得ました。

そもそものきっかけは勉強会を支援してくださる石光商事の森本茂相談役が名古屋支